

教育心理学者としての 教育実践への関わり

市川伸一（東京大学教育学研究科）

<http://www.p.u-tokyo.ac.jp/lab/ichikawa/>

「理論と実践を結ぶ」アプローチとは

アプローチの2つの側面

内容的側面： どのような理論を

方法的側面： どのように実践と結ぶのか

不毛性論議： 実践と教育心理学が乖離していた時代

アプローチの模索： 授業観察、開発研究、……

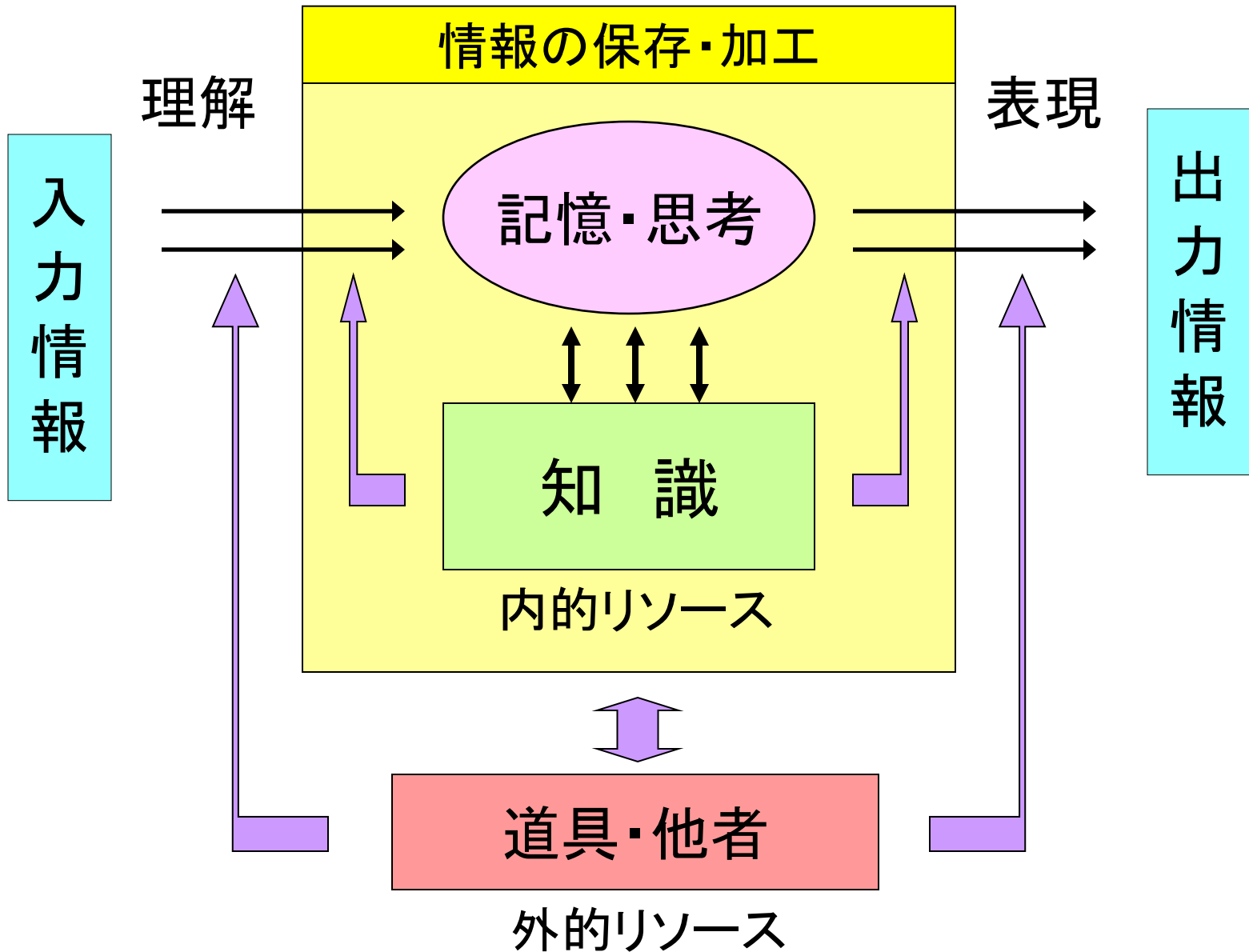
実践を創りながら考える教育心理学へ

教育心理学者が自ら教育実践の場をもつこと

大学を地域のリソースに： 個別学習相談、学習ゼミナール

下地をつくってから、学校教育、社会教育、教育行政へ

認知心理学の情報処理モデル



これまでの研究テーマと活動

	研究テーマ	研究室活動	学会・社会活動
1980	視覚的イメージ能力 確率判断のバイアス コンピュータ教育 認知カウンセリング		
1990	大学・学校でのRLA	学習相談室／CC研 遊びと学びゼミナール 学習法講座 夏休み学習ゼミナール	学会：CC旗揚げ(不発) 学会：実践研究WG 文部：教育企画評価委員
2000	教えて考えさせる授業	COMPASS の開発	内閣府：人間力戦略研究会 文科：中教審教育課程部会 学びのポイントラリー
2010	地域教育の活性化	教育研究交流会	岡山：学力・人間力育成事業 OKネット／OKセミナー

「習得」と「探究」の学習

学力低下論争（2000 年前後）の一つの決着案として
学習の2サイクルモデル（市川、2001、2002、2004）

習得サイクル：目標とする知識・技能の獲得

探究サイクル：学習者自らの興味・関心に沿った探究活動

基礎から積み上げる学び：習得から探究へ

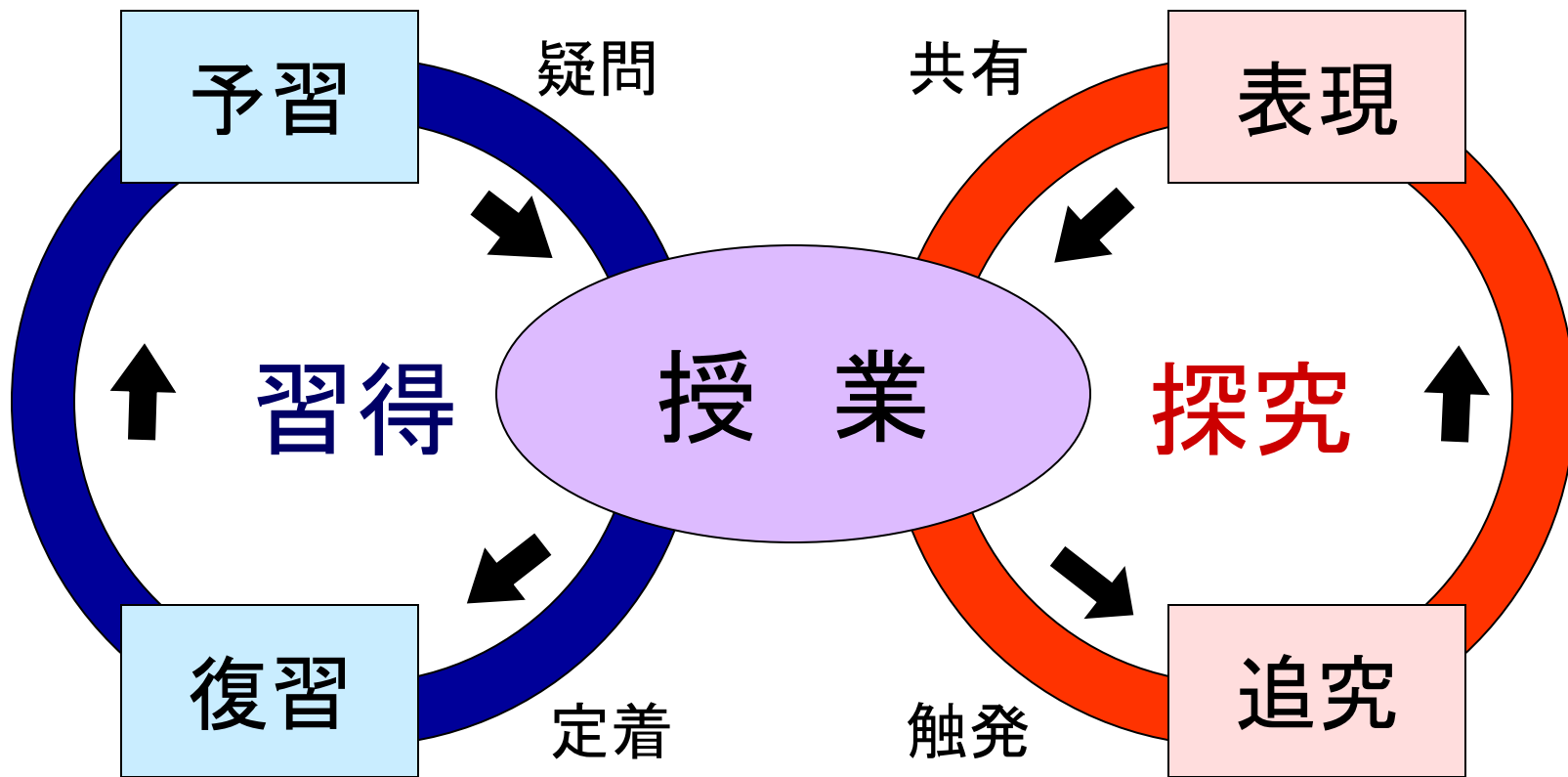
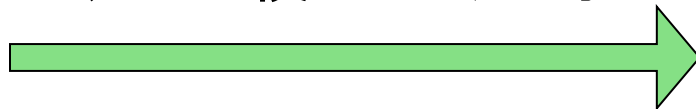
基礎に降りていく学び：探究から習得へ

中教審答申（2005年10月26日 p. 14）

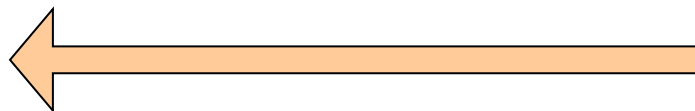
習得型の教育：基礎的な知識・技能の育成

探究型の教育：自ら学び自ら考える力の育成

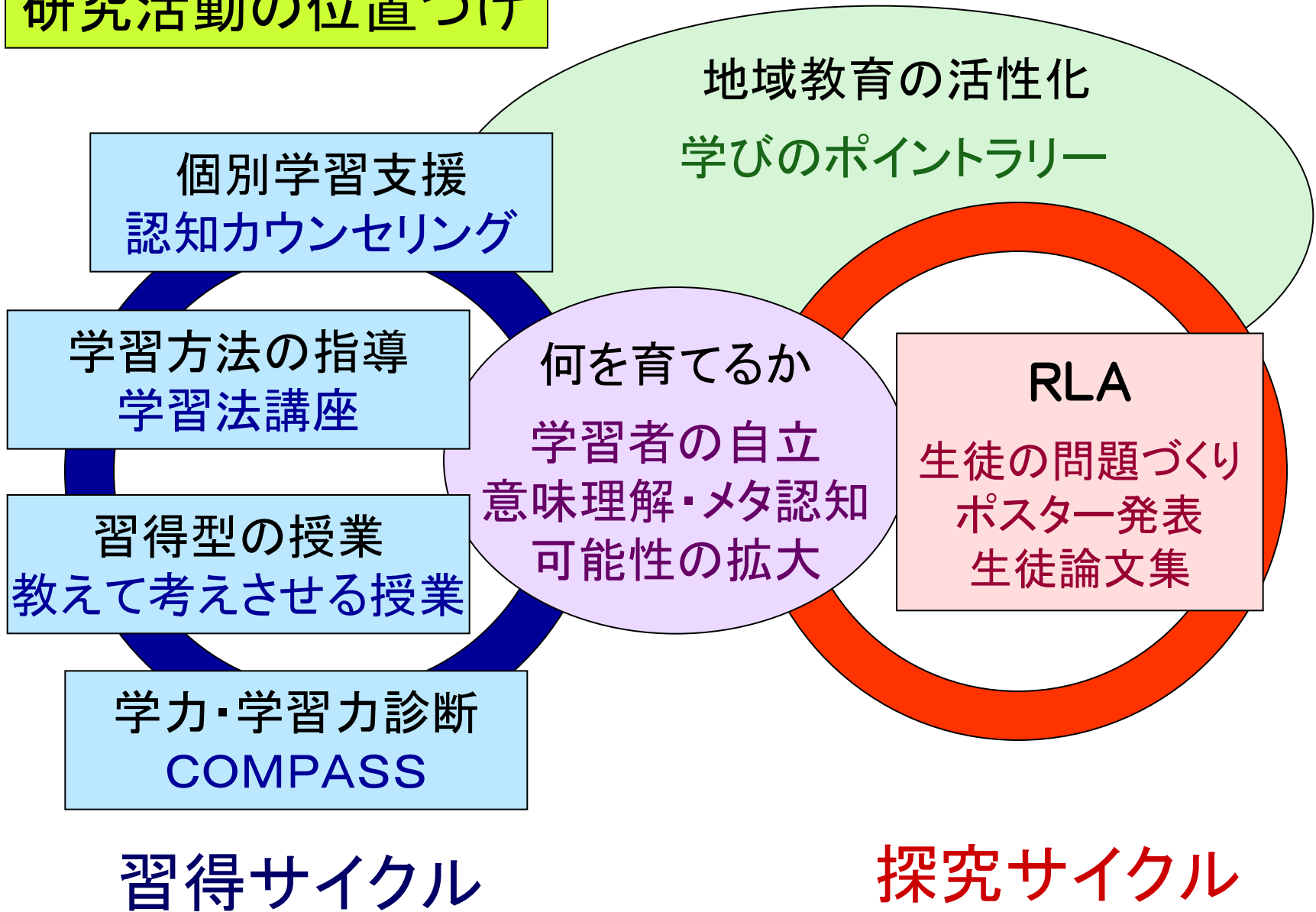
基礎から積み上げる学び



基礎に降りていく学び



研究活動の位置づけ



「教えて考えさせる授業」の提案

「教えて考えさせる授業」（市川、2001, 2004）

「詰め込み」「教え込み」: 旧タイプのわからない授業
教えずに考えさせる授業: 新タイプのわからない授業
教えて考えさせる授業

予備知識の教授により、理解・問題解決・定着を促す

中教審答申（2008年1月17日 p. 18）

「……**教えて考えさせる指導**を徹底し、**基礎的・基本的な知識・技能の習得**を図ることが重要なことは言うまでもない。」（ただし、**教材・教具の工夫、理解度の把握**）

認知心理学から見た「理解の深まり」

- 浅い理解から深い理解へ

 - 知識の関連づけの成立

 - 断片的な知識から構造化された知識体系へ

- 理解の深まった状態とは

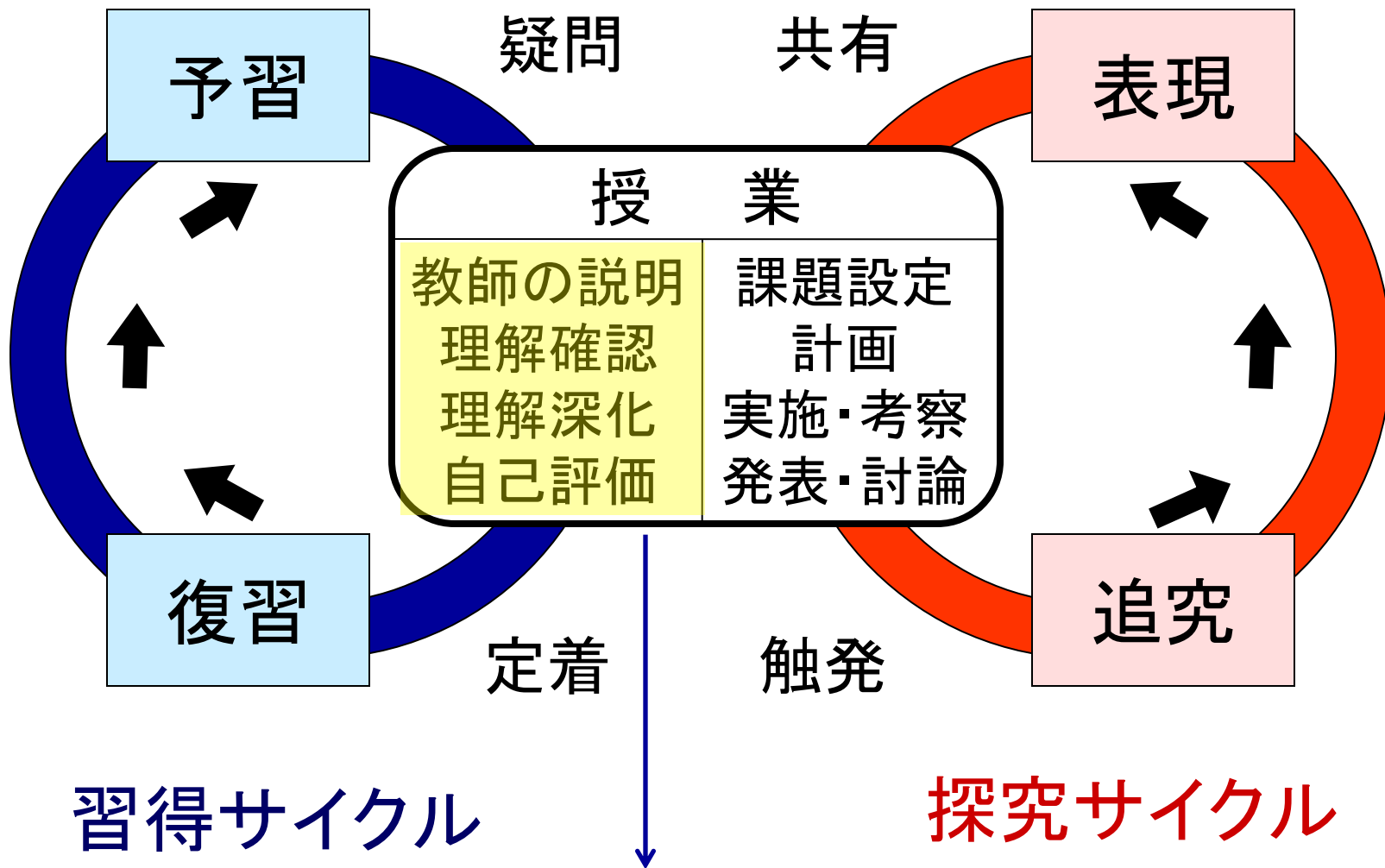
 - 自分の言葉で説明できる

 - 質問に答えられる

 - 類似問題に応用できる

- 理解を深めるための習得学習のサイクル

 - 受容学習／能動的表現／問題解決・討論／教訓の抽出



教えて考えさせる授業

「教えて考えさせる授業」は何をめざすのか

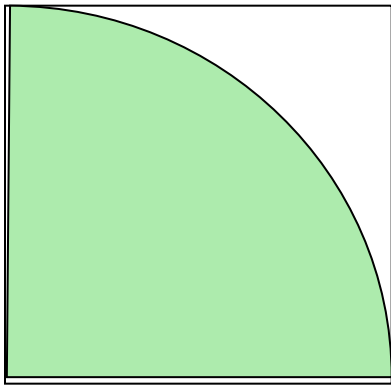
- **すべての児童・生徒に、やりがいのある授業**
 - 進んでいる子に足踏みさせない
 - 遅れている子もついていける
- **教科書を使って、教科書を超える授業**
 - 予習、授業、復習での共通のリソースとして活用
 - 教材・指導法・課題によるバリエーション
- **確実な定着と理解・活用・思考・表現のある授業**
 - 協同学習による参加意識とコミュニケーションの促進
 - 自己評価によるメタ認知の育成

授業づくりのポイントはどこにあるか

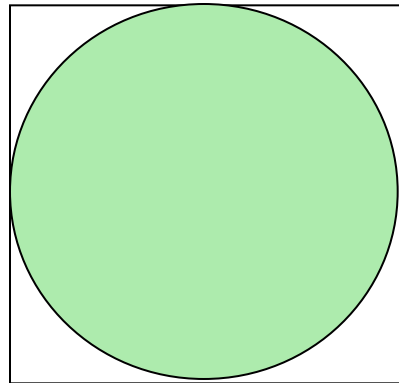
- **困難度査定—難しいところこそ、時間と工夫を**
指導書、教育書などの解説を利用
自らの学習経験や指導経験から
「子どものつもりになって」というイメージーション
- **教える場面の工夫—コンパクトに重要な点を**
ただし、単なる要約でなく、教材や教え方を工夫
- **理解深化課題の工夫—課題のレポーターを広く**
教科書の発展問題、教育雑誌などの活用
教師が疑問、代案を出す習慣

$$\text{円の面積} = \text{半径} \times \text{半径} \times 3.14$$

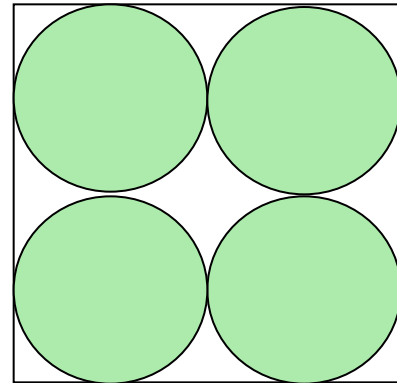
20cm



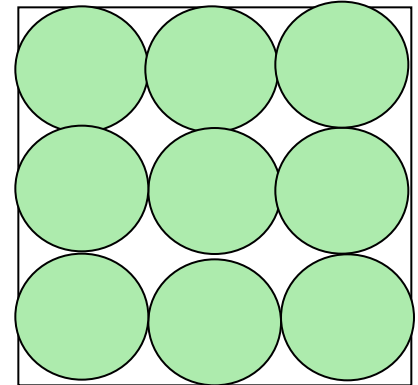
20cm



20cm



20cm



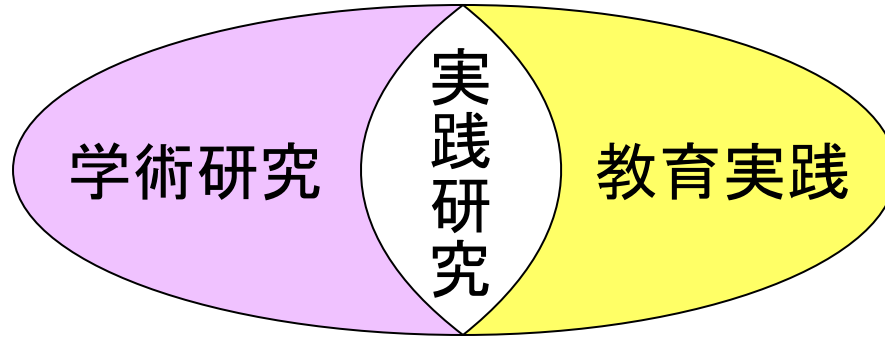
理解深化課題の代替案の例

つとむ君が、「この面積は全部同じだ。面積を計算しなくても、公式を見ればわかるよ」と言っています。つとむ君の考えを説明しましょう。

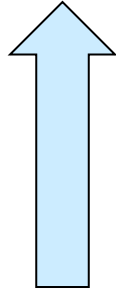
教育現場 にはいたいという 若手研究者に

- **一番早いのは：**現場にはいつている研究者にくっついて
- **自分で切り開くには：**
自ら教育実践の現場をつくる（子どもを知る場）
現場に寄与できることを探す
指導補助、研究法、情報提供、理論化、・・・
- **研究者としての構え：**
「違和感」を「新鮮さ」に： テーマ発見のチャンス
実践を共通基盤にした仲間意識
（一見、心理学を離れた） 教育改善策の提案

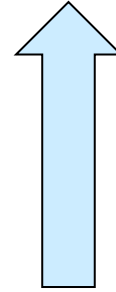
プロダクト



学界に関する知識
研究経験・スキル



教育界に関する知識
教授経験・スキル



心理学的な
概念・理論・知見
「最新の理論」より
確かな理論

参考図書紹介

認知心理学に基づく教育実践

学習を支える認知カウンセリング（市川編、ブレーン出版）

学力と学習支援の心理学（市川編、放送大学出版局）2014年3月刊

「教えて考えさせる授業」を創る（図書文化）

「教えて考えさせる授業」の挑戦（明治図書）2013年7月刊

教えて考えさせる算数・数学（図書文化）2015年9月刊

これからの教育の展望

開かれた学びへの出発ー21世紀の学校の役割ー（金子書房）

学力低下論争（ちくま新書）

学ぶ意欲とスキルを育てるーいま求められる学力向上策ー（小学館）

心理学から見た学習のしくみとスキル（高校生向け）

勉強法が変わる本ー心理学からのアドバイスー（岩波ジュニア新書）

勉強法の科学ー心理学から学習を探るー（岩波科学ライブラリ）